

OTK 支える

No.24

総会開催

二〇〇一年度、第八回定期総会が去る五月二十八日(月)、一〇時三〇分より、太閤園に於いて開催されました。

今井会長の挨拶に始まり、御来賓の大阪市健康福祉局福祉本部障害者施策部障害福祉課長村江昇様より御祝辞を賜りました。その中で、親・家族が待望の重症心身障害者援護施設のことにも触れられ、今年度着工予定ということとで予算化されており、平成十五年四月開所の予定であるとの朗報も戴きました。その後、祝電が披露され、議事へと進められました。事業報告、会計報告の後、七年間会長を務められた今井清行氏退任に伴い、新会長鈴木祥子氏の選任及び新任挨拶がおこなわれました。その後、役員改選、事業計画、予算計画へと議事が進み、各議案が出席者の承認を得、無事成立致しました。

社会福祉法人 全国重症心身障害児者を守る会
大阪支部
大阪府重症心身障害児・者を支える会

お昼からは、ビュッフェ形式での昼食をとりながら交流会が和やかに開催されました。



守る会三原則

決して争ってはいけない 争いの中に弱いものの生きる場はない
親個人がいかなる主義主張があっても、重症児・者運動に参加する者は党派を超えろこと
最も弱いものを一人も漏れ無く守る

会長を辞するにあたり

支える会が設立され早や八年目となりました。その間会長としての重責をどれ程全う出来たのか心許無い限りではありますが、時流の変化に即し、世代交代する事が会の益々の発展に繋がるものと確信し、辞任の意を固めた次第であります。

社会福祉が基礎から見直され大きな転換期を迎え、当会におきましても法人化や施設づくり等の課題が山積致しております。

新体制の下、各運営委員さんの更なる活躍を期待し、会員の皆様には尚一層のご厚情を賜りますようお願い申し上げます。

最後になりましたが、大阪府・市の関係者の方々を始め多くの皆様方にご指導、ご支援を賜りました事を厚く御礼申し上げます。

七年間、ほんとうにお世話になりました。有り難うございました。

二〇〇一年六月吉日 今井 清行



会長就任にあたり

此度、今井前会長の後を引き継ぎ、会長に選任され責任の重さを痛感しております。

「支える会」設立以来、家族の方々(特に介護者)の精神的・身体的な負担の大きい中で、健康状態を心配しながらも力を合わせて着実に実績を積み重ねて参りました。

運営委員会をはじめ、各種研究会や介護講習会・交流会などを通じ、相互理解を深め、大阪市を始め府下の各市、各施設や学校の現状などの情報交換につとめてきました。又、親だけでは片寄りがちな「思い」を学識や経験豊富な親以外の方々のご意見を参考にいろいろ考えさせられ、反省もしてきました。

親の方々の考え方や取り組みは、子どもの障害により違いがあり、重複や合併症の実状の数と同じだけ多様化しています。それらをまとめ確かな実りのあるものに結びつけるには、福祉制度が大きく変わろうとする平成十五年までの二年間がとて大切な時期だと考えております。障害の程度が最重度でありかつ家庭における介護が著しく困難な状況にある重症心身障害児・者に必要なケアを充分に得ることができるよう「支える会」は一人ひとりを大切にこれからも歩んで行かねばと思っております。

会員の皆様をはじめ、関係諸機関や多くの皆様の御協力や御理解を得て、より困難で重度の人の対応を考えた施策の重要性を訴え、実現を願っております。

会長 鈴木 祥子

「交流会に参加して」

交流会

五

月二十八日、午前中はまだ肌寒さが残るそれでもさわやかな風の日に、総会と交流会が開催されました。総会后、例年は記念講演会がありましたが、本年度は交流会としてピュッフェ形式での昼食会となりました。和食、洋食、中華風もあり御料理はバラエティーにとんでいました。最初のうちはお腹にしっかりといただきました、おいしかったです。皆様満腹になるとテーブルで話はずみ、普段ゆ



つくりおしゃべりできない事をはじめの方々の自己紹介も済ませ、あれやこれやと各テーブルでお話はずんでいました。あっという間に時間が過ぎ去り、交流会終了後一部の方は太閤園の庭園を散策しておられました。私は一月の交流会にもお庭を歩きましたが、季節が変わると庭の趣も全然ちがうんだなと思いつつ五月の風と一緒に楽しみました。有難うございました。

藤岡 咲子

重

症心身障害児・者が社会の中でいかに生きて行くのか、生活をして行くのかを親・家族の意見を聞きながらその代表者として日々考え活動して頂いている支える会に、いち親として感謝に堪えません。その会が今年八年目を迎え、総会と交流会に参加させて頂きました。

交流会では初対面の方とテーブルを一緒にさせて頂き、子供の話し、学校あるいは作業所の話し等、いろいろ楽しく情報交換が出来ました。「有意義なひと時だったなあ」と思いながら帰路につき、肩の力がほぐれたようなさわやかな気分でした。もちろん、おいしいご馳走を舌つづみどころか充分食し、身も心も満足感に拍車をかけられた事は言うまでもありません。ありがとうございました。

Y .



大阪府重症心身障害児・者を支える会
2000年度事業報告

基本方針、並びに活動方針に従い、重度の障害児者が地域の中で当たり前に暮らしていくためのシステムの構築を目指し、2000年度については、次のような活動を行った。

一、会員の拡大のための事業

研修会等の開催或いは機関紙等の配布に合わせ、会のパンフレット等の配布を行った。また、ホームページを作成し、情報の提供や各団体等とのリンク等を通して会のPRにつとめた。

二、研究に関する事業

第6回支える会セミナー

「重症心身障害児者介護セミナー」
2000年10月22日(日)
講師 末光 茂氏

「社会福祉法人 旭川荘専務理事」
パネルディスカッション
「重症心身障害児者の地域生活支援と

パートナーとしての医療」

- 富和 清隆氏 (大阪市立総合医療センター小児神経内科部長)
- 荒川 輝男氏 (淀川暖気の苑施設長)
- 清水 明彦氏 (青葉園園長)
- 末光 茂氏 (旭川荘専務理事)
- 司会 小澤 温氏

(大阪市立大学生活科学部助教授)
* (大阪府福祉基金助成事業)

強度行動障害問題を考える研修会
強度行動障害に対する施設の取り組み
意見交換会
2000年6月19日(月)
* (社会福祉・医療事業団助成事業)

強度行動障害問題を考える研修会
強度行動障害に対する施設の取り組み
2000年7月15日(土)
講師 松上 利男氏

(北摂杉の子会秋の杜施設長)
* (社会福祉・医療事業団助成事業)

強度行動障害問題を考える研修会
「コミュニケーションの視点から
行動障害を考える」
2000年10月7日(土)
講師 門 眞一郎氏

(京都市児童福祉センター副院長)
* (社会福祉・医療事業団助成事業)

強度行動障害問題を考える研修会
「自閉症の療育システム」
2000年11月4日(土)
講師 新澤 伸子氏

(大阪自閉症支援センター指導主任)
* (社会福祉・医療事業団助成事業)

強度行動障害問題を考える研修会
「自閉症とバリアフリー」
2001年1月7日(土)
講師 佐々木 正美氏

(川崎医療福祉大学教授)
* (社会福祉・医療事業団助成事業)

強度行動障害専門職員養成事業
「ノースカロライナを視察して」
2001年3月20日(火)
* (社会福祉・医療事業団助成事業)

重症児者の介護講習会
「重症心身障害者の介護の基本」
2000年7月1・2日(土・日)
講師 岸本 眞氏

(岸本姿勢訓練センター長)
* (大阪府福祉基金助成事業)

重症児者の介護講習会
「食べることが困難な人への援助」
2000年7月20日(木)
講師 吉田くすほみ氏

(日本マカトン協会)
* (大阪府福祉基金助成事業)

強度行動障害専門職員養成事業
海外視察研修の実施
「アメリカ・ノースカロライナ州の実践視察」
参加者を募集の上、派遣。
* (社会福祉・医療事業団助成事業)

三、交流事業

介護交流セミナーの実施。保護者・ボランティアの交流会を含めた交流セミナーを大阪市分会を中心に開催した。
2001年1月22日(月)

* (本部事業 社会福祉・医療事業団助成事業)

四、啓発事業

- ・大阪府に対して、重症児通園事業の促進、重症児の暮らしの場の確保、「大阪府障害者施策推進協議会」への参画等について要望。
- ・大阪市強度行動障害研究・検討委員会に参画。(H12・6～H13・3)
- ・大阪市重症心身障害者援護施設あり方検討会策定部会に大阪市分会より参画

五、機関紙の発刊

- ・機関紙「支える」を年間計5回発行。
- ・会員等への情報提供の場として発行。紙面の充実のためB5版からA4版に変更。

他に大阪府分会を中心とするショートステイにかかるニーズ調査を行ったが、実態やニーズの把握等について充分には取り組めなかった。また、行政に対する働きかけについても、十分ではなかった。今後、積極的に進めていく必要がある。

月別活動報告

- 四月 運営委員会
- 五月 運営委員会
第7回定期総会
「支える」発行
- 六月 運営委員会
強度行動障害問題を考える研修会
- 七月 運営委員会
強度行動障害問題を考える研修会
介護講習会



八月

- 運営委員会
「支える」発行
強度行動障害専門職員養成事業海外視察研修
(アメリカ・ノースカロライナ州)

九月

- 運営委員会
第6回支える会セミナー

十月

- 強度行動障害問題を考える研修会
大阪府に要望書提出

十一月

- 運営委員会
強度行動障害問題を考える研修会

十二月

- 運営委員会

二〇〇一年

一月

- 運営委員会
強度行動障害問題を考える研修会
介護交流セミナー
「支える」発行

二月

- 運営委員会

三月

- 運営委員会
強度行動障害専門職員養成事業海外研修報告会
ボランティア育成教室実施
「支える」発行

視察

全国守る会関係

- 五月 運動推進部役員会(20)
- 七月 第37回全国大会(旭川市 22～23)
- 九月 運動推進部役員会(ブロック事務局長含む)(15～16)

支部長会議(16～17)

- 十一月 運動推進部役員会(ブロック事務局長含む)(1～2)
- 専門部会長会議(2～3)

二〇〇一年

- 三月 運動推進部役員会(24)

大阪府重症心身障害児・者を支える会
2001年度事業計画

基本方針

重度の障害を持っていても一人の人間としての人格と個性を持っていることを認識し、重症心身障害児・者が当たり前の人として、当たり前の生活が続けられることを支えていく。

活動方針

介護保険が導入され、各地域において様々な実践と多くの問題点も指摘され、障害児者の分野においてもこうした動きに連動していると思われるが、果たしてどのような形で新たな支援システムを構築されていくのか、大きな不安を抱くと共に重症心身障害児者が地域の中で暮らしていけるものとなるように大きな声を上げていく必要がある。特に、介護のみに重点を置いた保険制度だけで重症児者の生活すべてをまかなうことは到底無理だということを強調すべきである。介護だけではない、生きがい支援ともいべき部分をどのようなシステムで支援するのかをしつかり見極めなければならぬ。その為にも、会員間の情報交換を活発にし、実態やニーズの把握につとめていく必要がある。

また、こうした改革に伴い、権利擁護、或いは重症児・者の福祉に決して「後退」とならないよう力を結集して、様々な取り組みを行っていききたい。

従前より取り組んできた「強度行動障害」の問題についても、継続して取り組み、より具体的な政策への提言に結びつけたい。また、医療的なケアが不可欠な重症児者の地域生活の支援のための施策の実施を働きかけていきたい。そうした取り組みを積極的に進めていくために、また、会活動の安定を図る上において財政的基盤を安定させるために会費等の見直しや組織作りについて、より一層の工夫と努力を行い、会員の拡大に繋げたい。また、会員からの要望の高い入所施設を含めた社会資源づくり促進のための活動については昨年度に引き続き積極的に取り組んでいきたい。

事業計画
 1. 会員の拡大のための事業
 ・新しくパンフレットを作成し、より広く会の活動の理解を広げる。また、各メディアを利用した広報活動を行っていく。
 ・ホームページの運営により、情報の発信及び情報交換の場を持つ。

2. 研究に関する事業
 ・会員並びに関係者等の情報交換及び研修の場として実施しているセミナーの開催、並びに強度行動障害に関する研修会等の各種の研修会等を開催する。

3. 交流事業
 会員相互の交流のための事業、並びに情報交換等のための会員による集会等の実施。

4. 啓発事業
 大阪府並びに各市に積極的に情報提供を行うと共に実態に応じた施策の実施を求めていく。

5. 機関紙の発行
 会員相互の情報交換や情報提供の場として、また、会活動の広報の場として機関紙「支える」を発刊し、会の活動の強化及び会員の拡大に繋げる。

月別活動予定

四月	運営委員会 機関紙「支える」発行
五月	運営委員会 第8回定期総会(二十八日)
六月	運営委員会 介護講習会
七月	運営委員会 機関紙「支える」発行
八月	運営委員会 強度行動障害研修会
九月	運営委員会 療育キャンプ(未定) セミナー
十月	運営委員会 介護教室
十一月	運営委員会 強度行動障害研修会
十二月	運営委員会 機関紙「支える」発行
二〇〇二年	運営委員会 運営委員会 強度行動障害研修会 運営委員会 機関紙「支える」発行
一月	運営委員会
二月	運営委員会
三月	運営委員会 機関紙「支える」発行

守る会関係

五月	理事会、評議員会 運動推進部三役会
六月	運動推進部役員会 全国大会(広島リーガロイヤルホテル)(一六〇一七)
九月	運動推進部役員会、三役会 全国支部長会議(二三〇二四)
十一月	運動推進部役員会、三役会 全国専門部会長会議(二四〇二五)
二〇〇二年	理事会、評議員会 運動推進部役員会
三月	理事会、評議員会 運動推進部役員会

大阪市だより

重症心身障害者援護施設平成十三年度予算化(平成十五年四月開所予定)
 (大阪府/本会ホームページ参照)
 入所定員一六〇名(他にショートステイ二〇名)、通所(重心A型)十五名
 総事業費一十二億八七〇〇万円
 移送サービスを開始
 六月より、リフト付き軽自動車での送迎サービスを始めました。立ち上げたばかりで不十分な面があると思いますが、育てるためにもご利用下さいますようお願い致します。

ご寄附ありがとうございました
 大阪市重症心身障害児・者を支える会へ
 大阪コスモスライオンズクラブ様より
 デジタルビデオカメラ一式を
 頂戴致しました。

